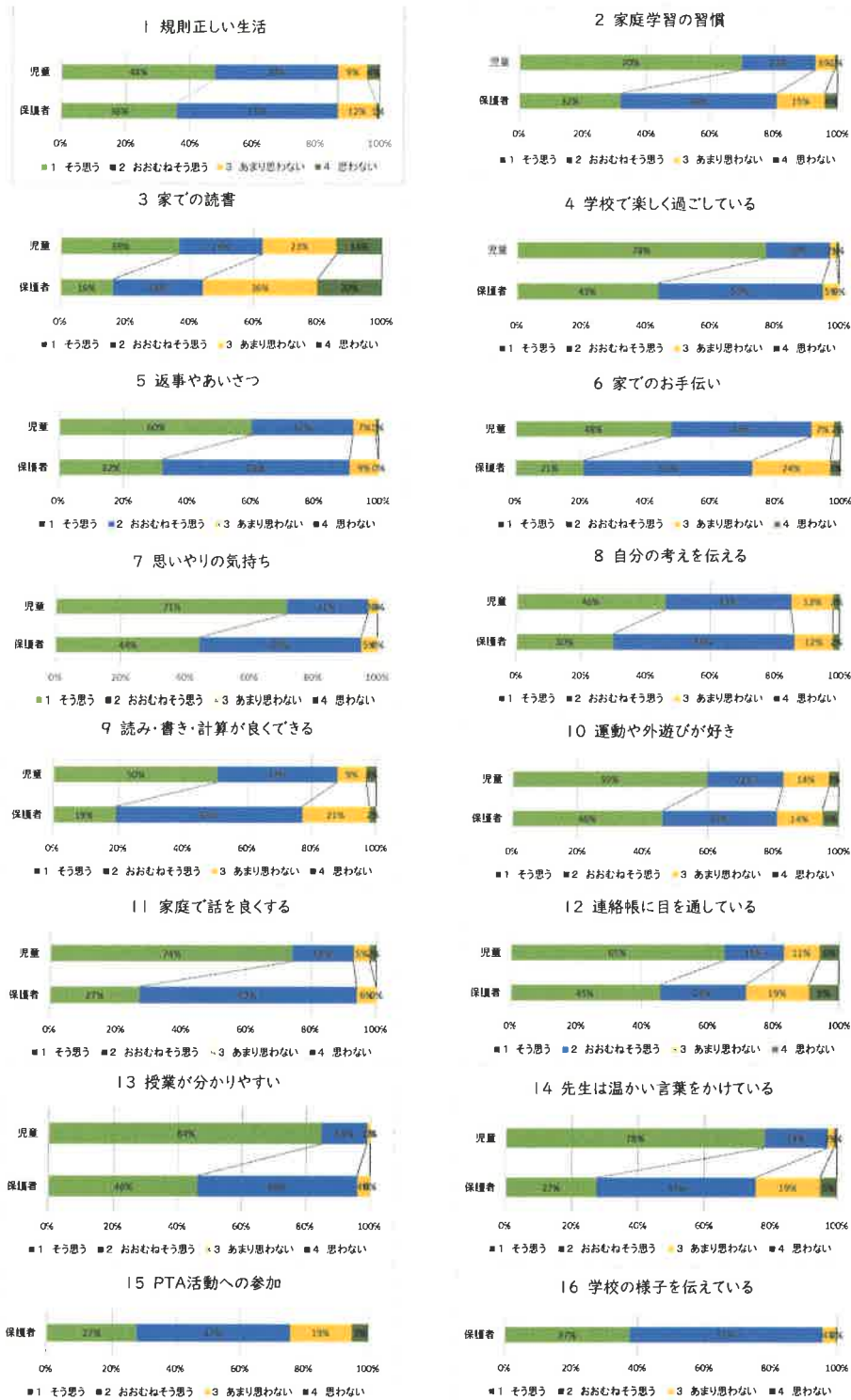


保護者・児童のアンケート集計結果

昨年12月に、保護者の皆様にお願しました「お子さんの成長の姿を見て」のアンケートでは、御協力をいただきありがとうございました。集計をする中で、真摯な御回答や建設的な御意見を拝見し、本校保護者の皆様方の子育てや学校に対する協力体制を強く感じ取ることができました。皆様方からいただいたアンケート結果並びに貴重な御意見を前向きに受け止め、今後の教育活動に生かしてまいりたいと思います。御協力ありがとうございました。



◎児童・保護者ともに90%以上

・4、5、7、11、13、14の項目については、児童が帰宅後に学校での様子や授業内容、教職員や友達との関わりなどを家庭で話していることが分かる。

◎児童・保護者ともに80%以下

・3の項目については、学校で読書タイムや図書室、ゆうがお壬生の利用があり、読書をする時間が確保されている。帰宅後は、習い事や宿題などの予定があり読書をする時間を確保することが難しいと考えられる。今後はさらに、図書委員会を中心としたイベントの実施や家読週間の位置付け、家読感想文コンテスト、休日読書の奨励などを実施することにより、読書への関心を高めていきたい。

保護者からの御意見に対する回答

保護者の皆様より、たくさんの御意見をいただきました。大きく学習面・生活面の内容にまとめさせていただきます、回答いたしました。

学習面

- 普段から読書をよくしている。
 - 宿題や家庭学習の習慣が身に付いている。
 - 勉強を頑張り始めたので、その調子で頑張りたい。
 - 個に応じた指導に感謝している。
- ▲学習の内容を理解していないのではと思う。
→学年や学習内容によって異なりますが、複数教員での指導や端末を活用した個に応じた学習、児童の学び合い活動を取り入れた授業を行っています。
また、テスト等で理解不十分な内容を再度取り上げ復習しています。今後も励ましながら繰り返し指導をしていきます。

生活面

- 入学してから、挨拶がよくなるようになった。
 - 学校での出来事をよく話してくれる。友達と遊んだこと、先生が話したことなど楽しそうに話してくれる。楽しく過ごしていることが伝わってくる。
 - いやなことがあっても先生方の温かいご指導のおかげで、前向きに学校生活を送れている。
 - 友達の名前を呼ぶときに「〇〇さん」とさん付けて呼んでいる。学校での指導が身につけている。
 - 連絡帳がパソコンになったが、今後のことを考えると、親の介入なく自己責任で行える練習としては必要だと思う。
 - 学校の様子や相談をしてきているので安心している。
 - 勉強が難しくなってきたが、欠席した日の学習などで困っていると友達が教えてくれている。みんな優しく成長していると思う。
- ▲思春期・反抗期で難しい時期になった。イライラすると言ったことがある。集中力に欠ける。友達とのコミュニケーションが難しい。
- ▲登校を渋ることがある。
→学習・生活アンケートやアプリ「心の天気」を活用して、児童の心の変化に早期に対応していきます。学校で嫌な思いをしたら、すぐに、担任、または担任以外の教職員に伝えるように声を掛けています。御家庭で気になることがありましたら、いつでも御連絡ください。学校で安心して学習できる環境を御家庭と一緒に考えていきます。
- ▲声掛けをしても忘れ物や家庭学習カードの記入ができていないことがある。いつまでも親が用意するものなのかと思う。
- ▲連絡帳がパソコンになり親が確認できないことがある。子供の話があっているのか分からない。宿題もパソコンなので、やってあるのか分からないことがある。
→宿題などの課題は、子供たちの発達の段階に合わせた課題を出し、提出を確認をしています。端末での連絡については、保護者の方からの確認の記入をできる限りお願いします。御不明な点は、いつでも担任へ連絡してください。
- ▲ゲームをしたりやYouTubeを見たりする時間が増えている。
→「スマホの所持は中学を卒業してから」や「ゲームの時間は1時間まで」と壬生町教育委員会より壬生町小中学校のスマホ等の所持や利用の仕方への取組についての通知が出されています。学校で、情報教育を行っています。御家庭でも、再度、なぜ、このようなルールがあるのかをよく話し合ってください、御家庭のルールを決めてください。

その他

- ▲お便りを紙面で配布してほしい。
→紙面での配布を希望される方は、担任へ連絡してください。お子さんにお渡しいたします。